

安芸高田市まちづくりアンケート調査

報 告 書 (概 要 版 ver1.0)

平成 26 年 7 月
安芸高田市

中高生アンケート 調査概要

(1) 調査目的

安芸高田市の情勢や市民の意識を調査するために、市内の中高生を対象に、安芸高田市のイメージや今後のまちづくりの方向性等を把握し、計画づくりの基礎資料を得るために実施したものです。

(2) 調査方法等

調査の対象	市内の中高生（中学2年生・高等学校2年生）
抽出母体	市内の中学校、高校
調査方法	各学校を通じた配布・回収
調査時期	平成26年5月27日～平成26年6月6日

(3) 配布数及び回収結果

配布数	406
有効回収数	371
有効回収率	91.4%

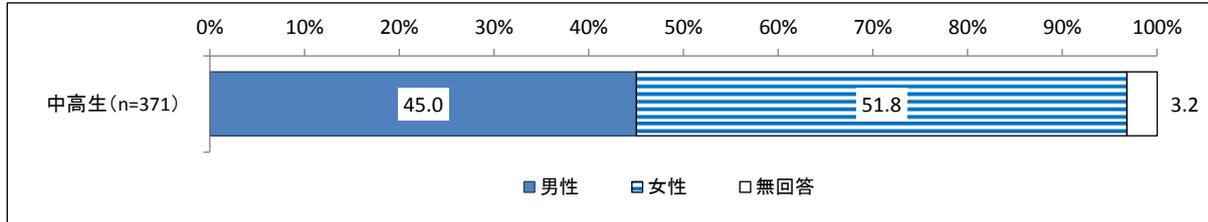
(4) 本調査報告書の留意点

- ・比率はすべて百分率で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しました。そのために、百分率の合計が100%にならないことがあります。
- ・質問文の中に、複数回答が可能な質問がありますが、その場合、回答の合計は調査数を上回ることがあります。
- ・図中の選択肢表記は、場合によっては語句を短縮・簡略化している場合があります。
- ・クロス集計等での件数（母数）の少ない集計結果についても、参考までに掲載しています。

回答者の属性

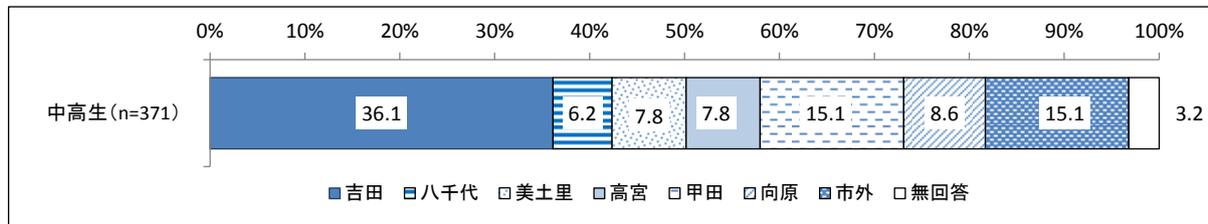
(1) 性別

回答者の性別は、「男性」が45.0%、「女性」が51.8%となっています。



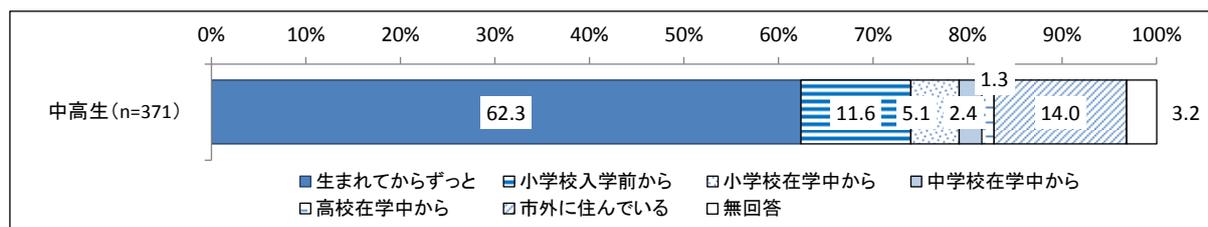
(2) 居住地

居住地は、「吉田」が36.1%と最も高く、以下「甲田」「市外」（ともに15.1%）、「向原」（8.6%）、「美土里」「高宮」（ともに7.8%）、「八千代」（6.2%）となっています。



(3) 居住年数

居住年数は、「生まれてからずっと」が62.3%と最も高く、以下「市外に住んでいる」（14.0%）、「小学校入学前から」（11.6%）、「小学校在学中から」（5.1%）と長年住んでいる方の割合が高くなっています。

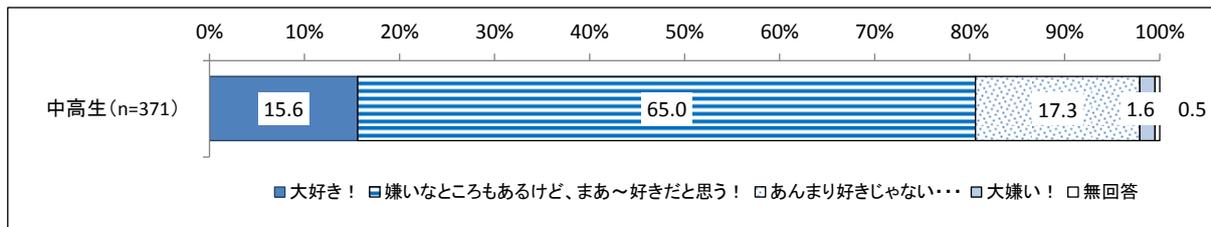


◆問1 あなたは、安芸高田市のこと、好きですか？（該当する1つに○印）

安芸高田市への愛着度をたずねたところ、「大好き！」と回答した人が15.6%、「嫌いなどところもあるけど、まあ～好きだと思う！」(65.0%)とを合わせた『愛着がある』が80.6%と8割を超えています。

一方、『愛着がない』（「あんまり好きじゃない・・・」(17.3%)、「大嫌い！」(1.6%)の合計）は18.9%にとどまり、まちへの愛着度は高いといえます。

図表1 安芸高田市の愛着度（全体）



◆【問1で安芸高田市のことについて】なんでそう思う？理由を教えてください！

安芸高田市のことをどうしてそう思うかを自由記入方式でたずねたところ、「大好き！」と、「嫌いなどところもあるけど、まあ～好きだと思う！」とを合わせた『愛着がある』でみると、「豊かな自然」に関することが102件と最も多く、次いで「まちの住みやすさ」に関すること(86件)、となっています。

また、「あんまり好きじゃない・・・」と、「大嫌い！」とを合わせた『愛着がない』でみると、「買い物や遊びに行ける店舗が少ない」に関するものが42件と最も多くなっています。

安芸高田市の『愛着がある』理由

意見	件数
<豊かな自然> 例：自然豊かで空気が都会に比べてきれいだから。	102
<まちの住みやすさ> 例：自然が多く、まちも近く、生活しやすい場所だから。	86
<地域の人々の優しさやあたたかさ> 例：地域の人々がとてもやさしく、あたたかく見守ってくれて安心して生活できるから。	41
<故郷(育ったところ・落ち着ける)> 例：それは、論ずるまでもなく、私の命を育くみ見守ってくれた、一つの郷(クニ)だからです。	30
<神楽やまちの歴史がある> 例：神楽が好きだし、伝統芸能にふれることができるから。	13
<友人・知人がいるから> 例：友達の家へすぐ行ける！！	8
<サンフレッチェの選手に会える> 例：サンフレッチェの選手にあえる行事があるから。	5
<その他>	12
計	297

安芸高田市の『愛着がない』理由

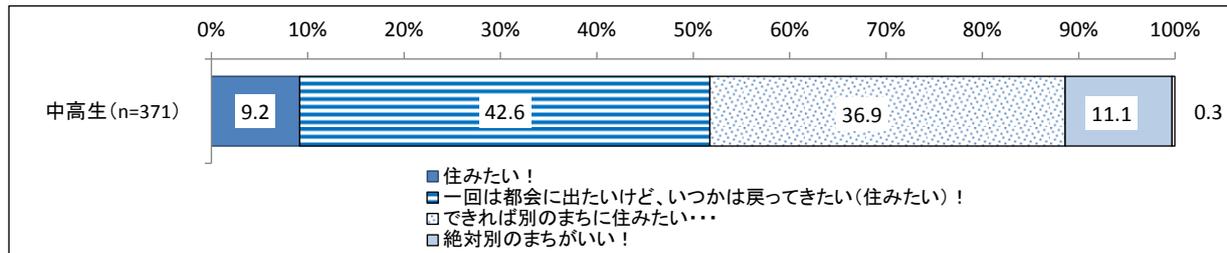
意見	件数
<買い物や遊びに行ける店舗が少ない> 例：安芸高田市には若者や子どもが遊べる所がないから。	42
<田舎なので> 例：自然は好きだけど都会に住みたいから。	14
<交通が不便> 例：駅が遠くて不便だから。	6
<その他>	8
計	70

◆問2 大人になっても安芸高田市に住みたいですか？（該当する1つに○印）

大人になっても安芸高田市に住みたいかをたずねたところ、「住みたい！」と回答した人が9.2%、「一回は都会に出たいけど、いつかは戻ってきたい（住みたい）！」（42.6%）とを合わせた『住みたい』人は51.8%と5割を超えています。

一方、『住みたくない』（「できれば別のまちに住みたい・・・」（36.9%）、「絶対別のまちがいい！」（11.1%）の合計）は48.0%と、若干定住希望が高くなっています。

図表5 安芸高田市の定住意向（全体）



◆問3 【問2で①、②を回答した方】なんで安芸高田市に住みたい？理由を教えてください！

◆問4 【問2で③、④を回答した方】なんで安芸高田市に住みたくない？理由を教えてください！

なんで安芸高田市に住みたいかを自由記入方式でたずねたところ、「住みたい！」と、「一回は都会に出たいけど、いつかは戻ってきたい（住みたい）！」とを合わせた『住みたい』でみると、「故郷（好き・育ったところ・落ち着ける・恩返し）」に関するものが89件と最も多くなっています。

また、なんで安芸高田市に住みたくないかを自由記入方式でたずねたところ、「できれば別のまちに住みたい・・・」と、「絶対別のまちがいい！」とを合わせた『住みたくない』でみると、「買い物や遊びに行ける店舗が少ない」に関するものが57件と最も多く、次いで「別の場所（都会など）に住んでみたい」に関すること（45件）となっています。

安芸高田市の『住みたい』理由

意見	件数
<故郷(好き・育ったところ・落ち着ける・恩返し)> 例：自分が生まれて育っているから安芸高田市は特別な場所なので住みたいです。	89
<住みやすい環境> 例：あまり事件や災害がなく安全だから。	58
<豊かな自然> 例：自然に囲まれて生活するのはとても良いと思ったから。	26
<友人・知人がいるから> 例：家族や友達がいてとても楽しいから。	5
<地域の人々の優しさやあたたかさ> 例：親切と責任感が都会の人と比べて個人主義者が少なく親切な人がたくさんいるからです。	4
<神楽やまちの歴史がある> 例：神楽などもあるので大人になっても楽しそうだから。	3
<その他>	3
計	188

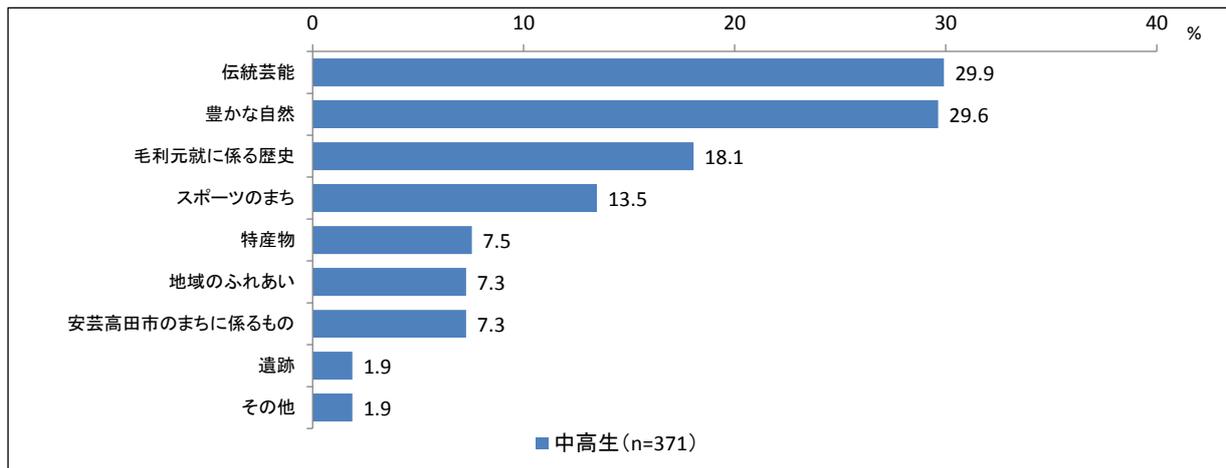
安芸高田市の『住みたくない』理由

意見	件数
<買い物や遊びに行ける店舗が少ない> 例：店が少ないし、買い物とか都会にでないといけないから。	57
<別の場所(都会など)に住んでみたい> 例：都会に行って、今ではなかった事を住んで体験したいからです。	45
<交通が不便> 例：交通機関はいいけど電車が通ってない所もあるから人が移動しにくいと思ったから。	22
<田舎なので> 例：なにもない、田舎すぎる。	13
<仕事場が少ない> 例：就職がこつただと限られてくるから。つきたい職業につきにくいから。	11
<地元に興味が薄い> 例：三次市に住んでいるから、地元が一番落ち着くから。	9
<その他>	20
計	177

◆問5 あなたは「全国ご当地自慢選手権」のプレゼンターに任命されました。ミッションは、選手権で優勝すること！あなたなら、安芸高田市の「何」を自慢して優勝を狙いますか？

安芸高田市の「何」を自慢して優勝を狙いたいかをたずねたところ、「伝統芸能（神楽や花田植・田楽など）」に関することが29.9%と最も多く、以下「豊かな自然」に関すること（29.6%）、「毛利元就に係る歴史」に関すること（18.1%）、「スポーツのまち」に関すること（13.5%）となっています。

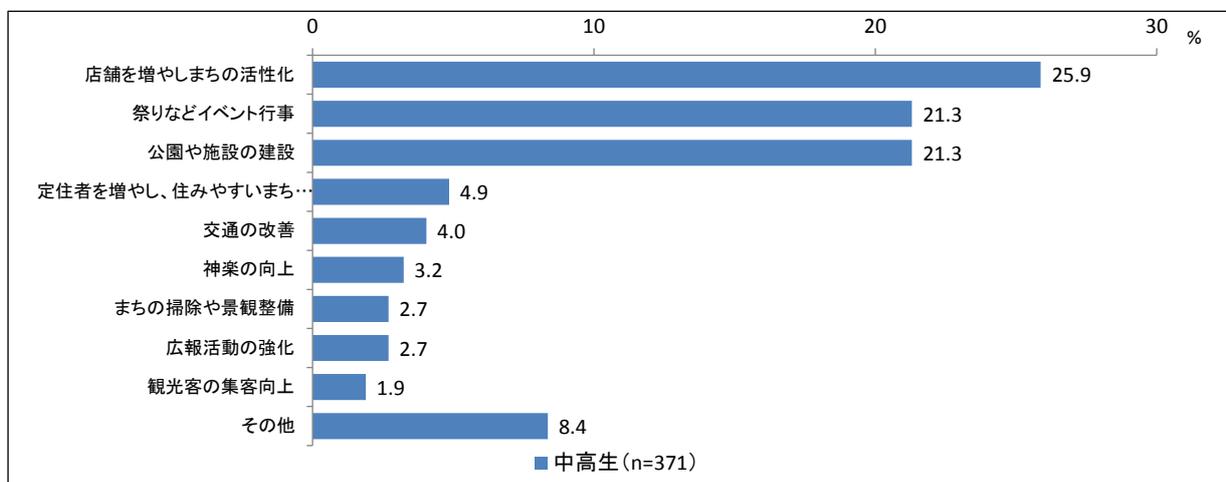
安芸高田市で自慢できるもの



◆問6 選手権優勝の実績が買われ、あなたは市長にも任命されました。次なるミッションは、安芸高田市を「ワクワクするまち」にすること！あなたなら、どんなことに取り組みますか？

安芸高田市を「ワクワクするまち」にするために、どんなことに取り組むかをたずねたところ、「店舗を増やしまちの活性化」に関することが25.9%と最も多く、以下「祭りなどイベント行事」に関すること（21.3%）、「公園や施設の建設」に関すること（21.3%）となっています。

「ワクワクするまち」にするために取り組むこと



市民アンケート 調査概要

(1) 調査目的

安芸高田市の情勢や市民の意識を調査するために、18歳以上の市民を対象に、まちづくりの満足度・重要性や安芸高田市の将来像のイメージ等を把握し、計画づくりの基礎資料を得るために実施したものです。

(2) 調査方法等

調査の対象	安芸高田市に居住する18歳以上の男女
抽出母体	住民基本台帳 (平成26年4月1日現在)
抽出法	無作為抽出
調査方法	郵送法(郵送による配布・回収)
調査時期	平成26年5月30日～平成26年6月13日

(3) 配布数及び回収結果

配布数	1778
有効回収数	572
有効回収率	32.1%

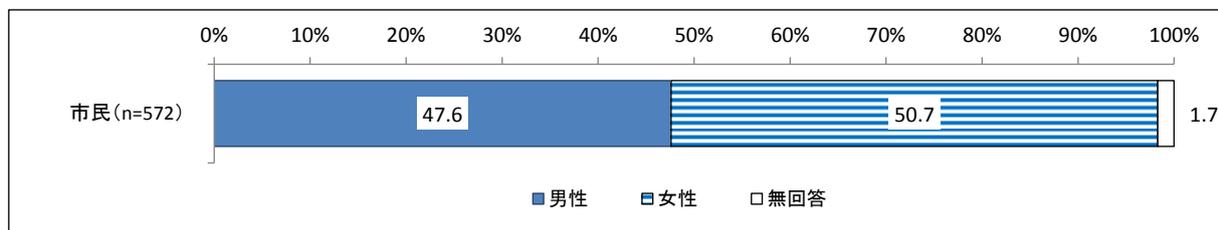
(4) 本調査報告書の留意点

- ・比率はすべて百分率で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しました。そのために、百分率の合計が100%にならないことがあります。
- ・質問文の中に、複数回答が可能な質問がありますが、その場合、回答の合計は調査数を上回ることがあります。
- ・図中の選択肢表記は、場合によっては語句を短縮・簡略化している場合があります。
- ・クロス集計等での件数(母数)の少ない集計結果についても、参考までに掲載しています。

回答者の属性

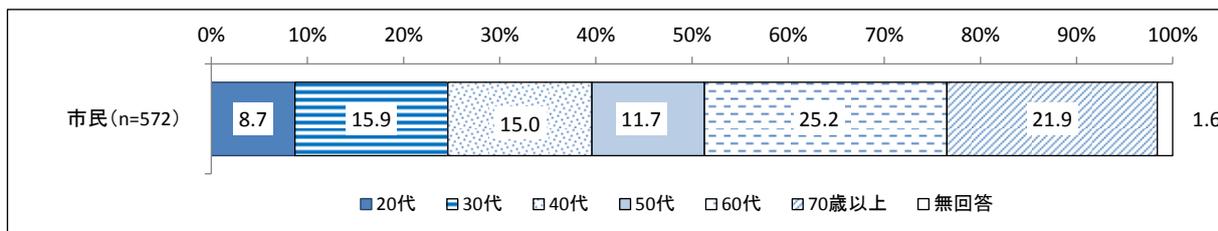
(1) 性別

回答者の性別は、「男性」が47.6%、「女性」が50.7%となっています。



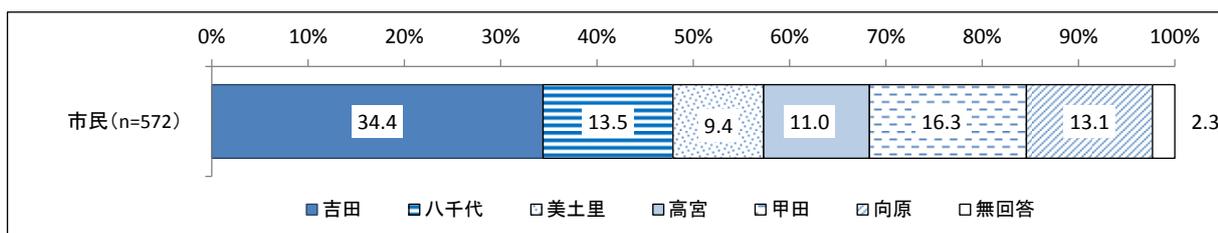
(2) 年齢

年齢は、「60代」が25.2%と最も高く、以下「70歳以上」(21.9%)、「30代」(15.9%)、「40代」(15.0%)、「50代」(11.7%)、「20代」(8.7%)と50歳以上が5割以上を占めています。



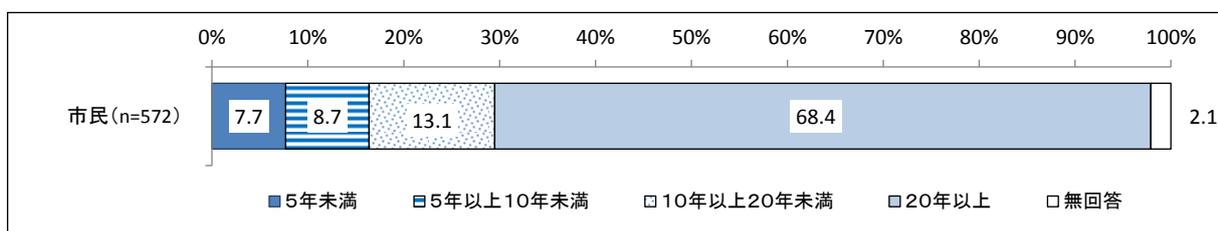
(3) 居住地

居住地は、「吉田」が34.4%と最も高く、以下「甲田」(16.3%)、「八千代」(13.5%)、「向原」(13.1%)、「高宮」(11.0%)、「美土里」(9.4%)となっています。



(4) 居住年数

居住年数は、「20年以上」が68.4%と最も高く、以下「10年以上20年未満」(13.1%)、「5年以上10年未満」(8.7%)、「5年未満」(7.7%)と長年住んでいる方の割合が高くなっています。



愛着度・定住意向について

◆問1 安芸高田市に愛着を感じていますか？（最も当てはまるものを1つ選択、該当番号に○）

【全体の傾向】

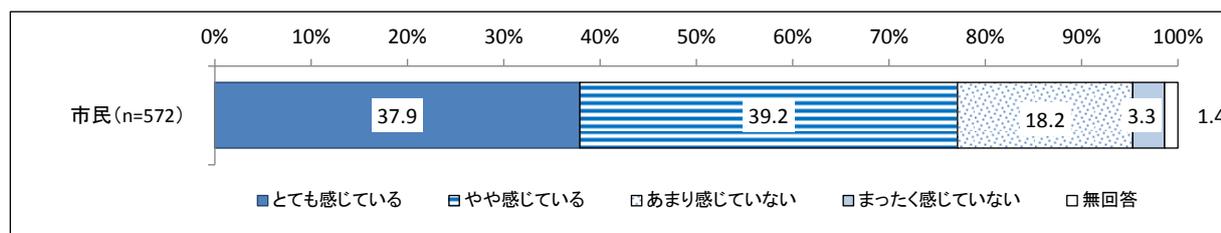
安芸高田市への愛着度をたずねたところ、「とても感じている」と回答した人が37.9%、「やや感じている」の39.2%とを合わせた『愛着がある』人は77.1%と7割を超えています。

一方、『愛着がない』（「あまり感じていない」（18.2%）、「まったく感じていない」（3.3%）の合計）は21.5%にとどまり、まちへの愛着度は高いといえます。

年齢別にみると、「とても感じている」の割合が40代で44.2%、70歳以上で48.8%と他の年代より高い割合となっています。

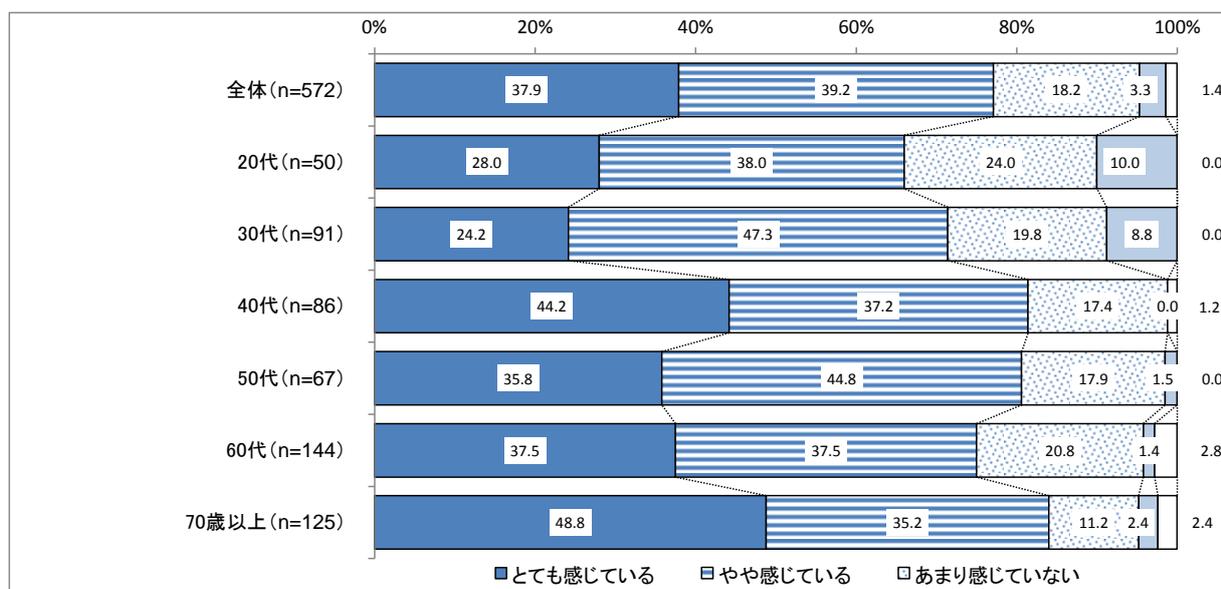
安芸高田市の愛着度

（全体）



安芸高田市の愛着度

（全体・年齢別）



◆問2 今後も安芸高田市に住みたいと思いますか？（最も当てはまるものを1つ選択、該当番号に○）

【全体の傾向】

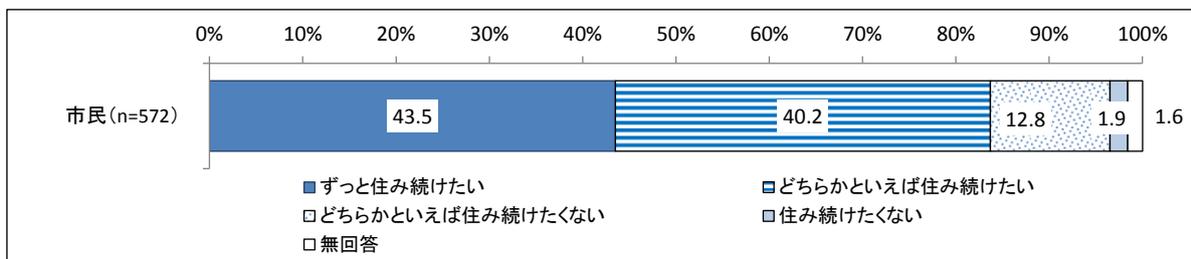
今後の定住意向をたずねたところ、「ずっと住みたい」と回答した人が43.5%、「どちらかといえば住みたい」の40.2%とを合わせた『定住希望がある』人は83.7%と8割を超えています。

一方、『定住希望がない』（「どちらかといえば住みたくない」（12.8%）、「住みたくない」（1.9%）の合計）は14.7%と『定住希望がある』人の割合を大きく下回っています。

年齢別にみると、『定住希望がある』の割合が70歳以上では9割以上と最も高くなっています。

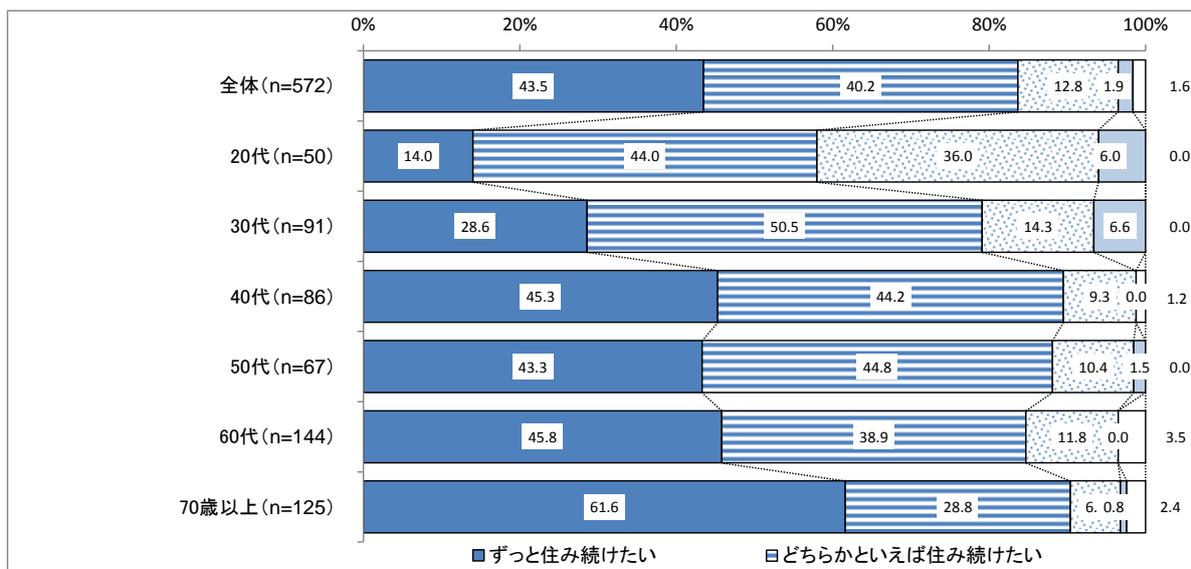
今後の定住意向について

（全体）



今後の定住意向について

（全体・年齢別）



◆問3 【問2で①、②を回答の方】安芸高田市に住み続けたい理由は何ですか？（最も当てはまるものを1つ選択、該当番号に○）

◆問4 【問2で③、④を回答の方】安芸高田市に住み続けたくない理由は何ですか？（最も当てはまるものを1つ選択、該当番号に○）

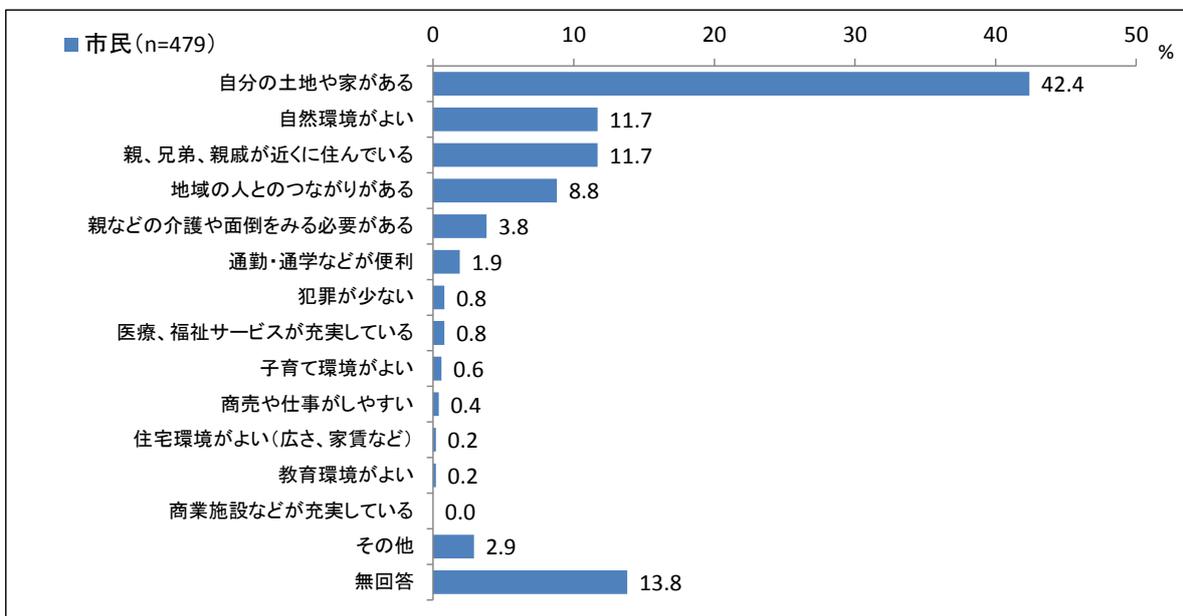
【全体の傾向】

前問で「ずっと住み続けたい」、「どちらかといえば住み続けたい」と回答した人にその理由をたずねたところ、「自分の土地や家がある」が42.4%で最も高くなっています。

また、前問で「どちらかというとも住み続けたくない」、「住み続けたくない」と回答した人にその理由をたずねたところ、「通勤・通学などが不便」(14.3%)が最も高くなっています。

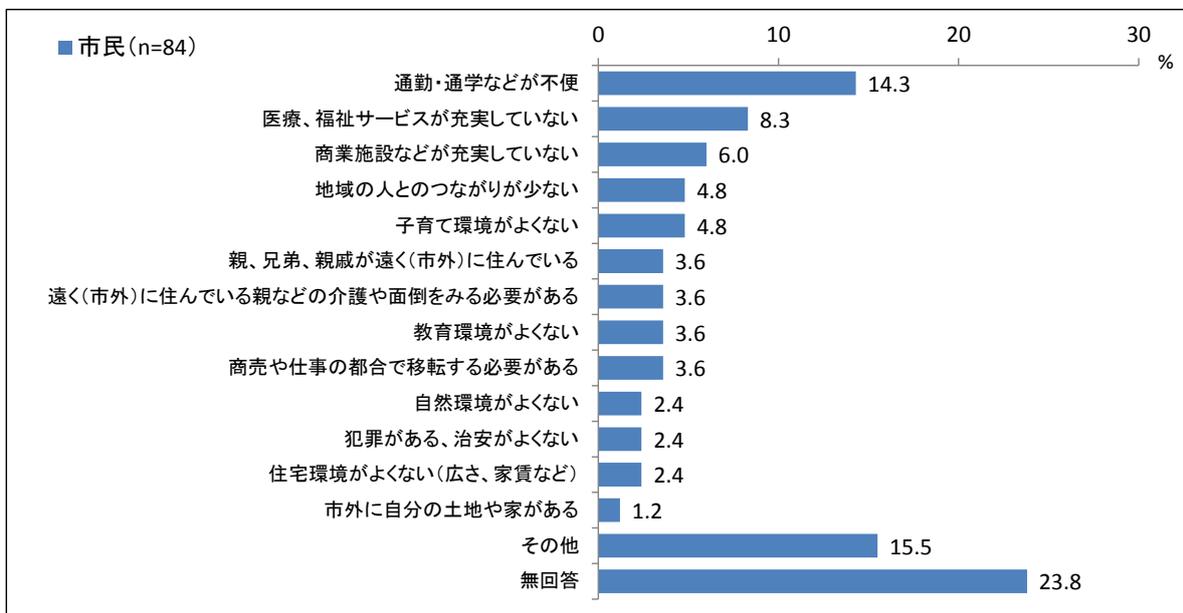
安芸高田市に住み続けたい理由

(「ずっと住み続けたい」「どちらかといえば住み続けたい」と回答した人のみ・全体)



安芸高田市に住み続けたくない理由

(「どちらかといえば住み続けたくない」「住み続けたくない」と回答した人のみ・全体)



◆問5 安芸高田市が合併して10年程が経過していますが、合併後どのように変わったと感じますか？（最も当てはまるものを1つ選択、該当番号に○）

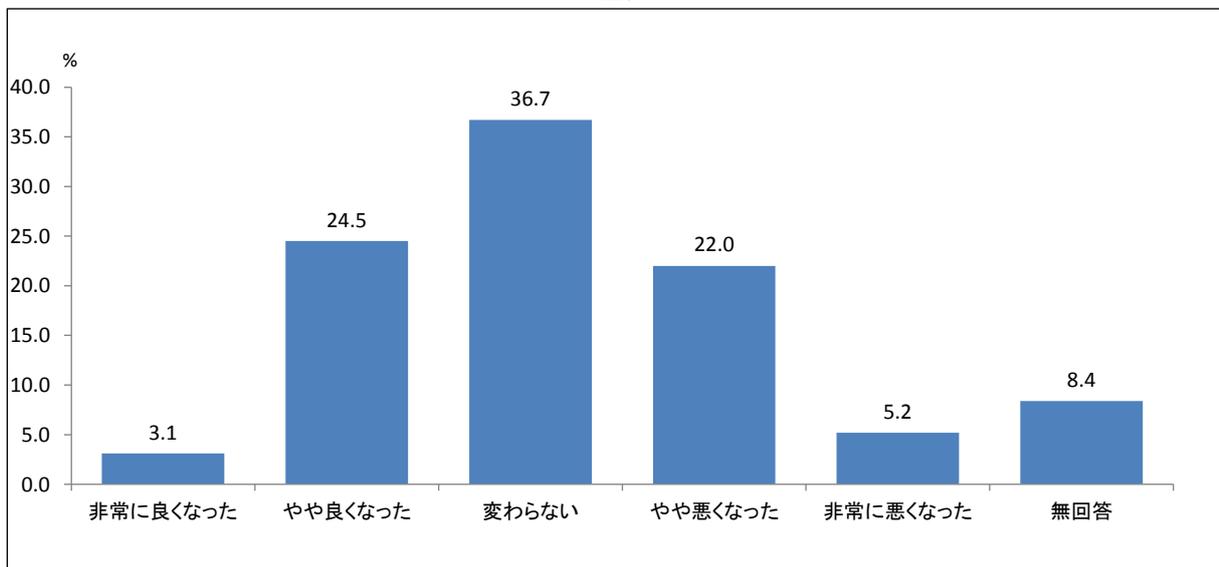
【全体の傾向】

安芸高田市が合併後どのように変わったかをたずねたところ、「変わらない」と回答した人が36.7%と最も高くなっています。

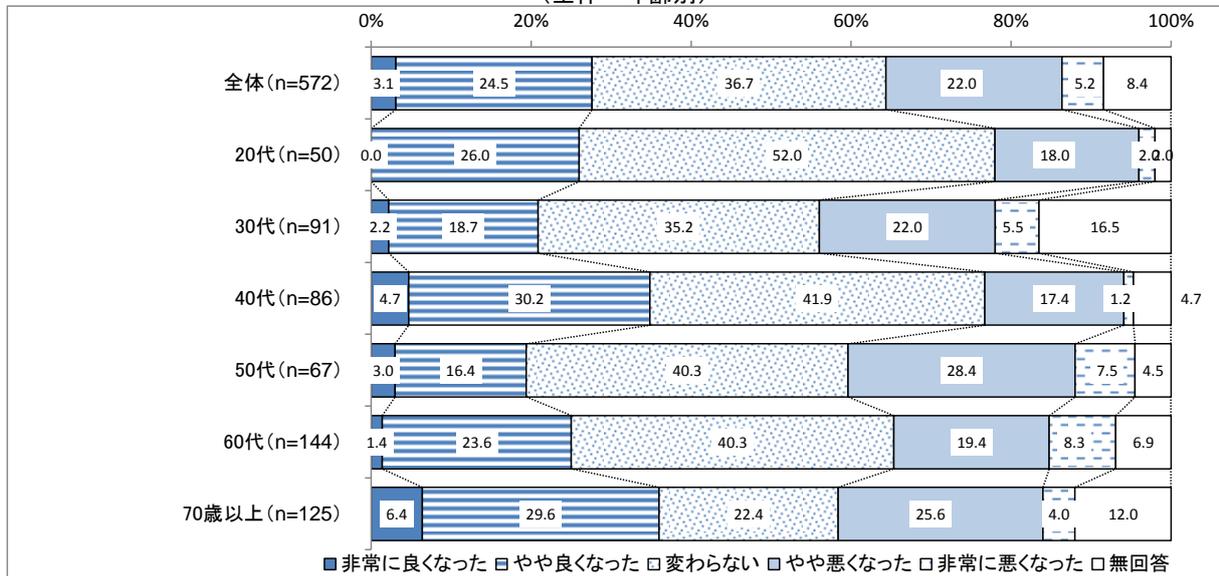
また、「非常に良くなった」と回答した人が3.1%、「やや良くなった」の24.5%とを合わせた『良くなった』人は27.6%に対し、『悪くなった』（「やや悪くなった」(22.0%)、「非常に悪くなった」(5.2%)の合計)は27.2%と『良くなった』割合を0.4ポイントと微弱ながら下回っています。

年齢別にみると、『良くなった』の割合が70歳以上で36.0%、40代で34.9%と他の年代より高い割合となっています。

合併後どのように変わったか
(全体)



合併後どのように変わったか
(全体・年齢別)



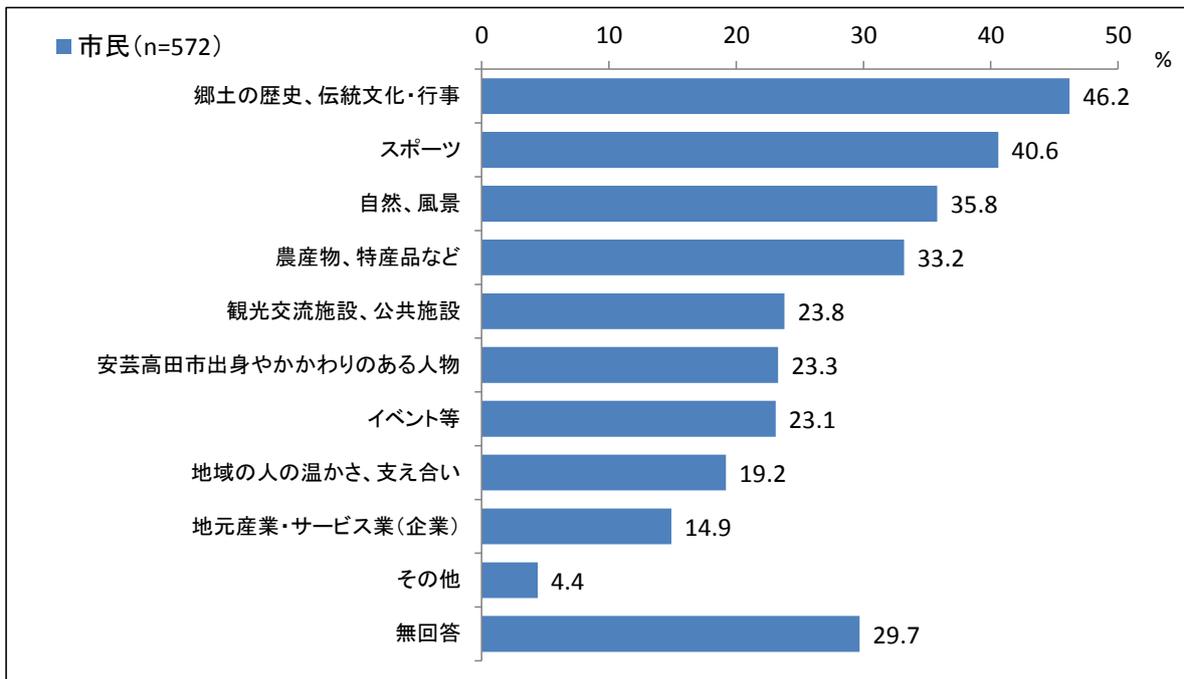
◆問6 あなたが考える“安芸高田市のお宝”（自慢できるもの）は何ですか？ 各項目に沿い、思い当たるものあれば記入してください。

【全体の傾向】

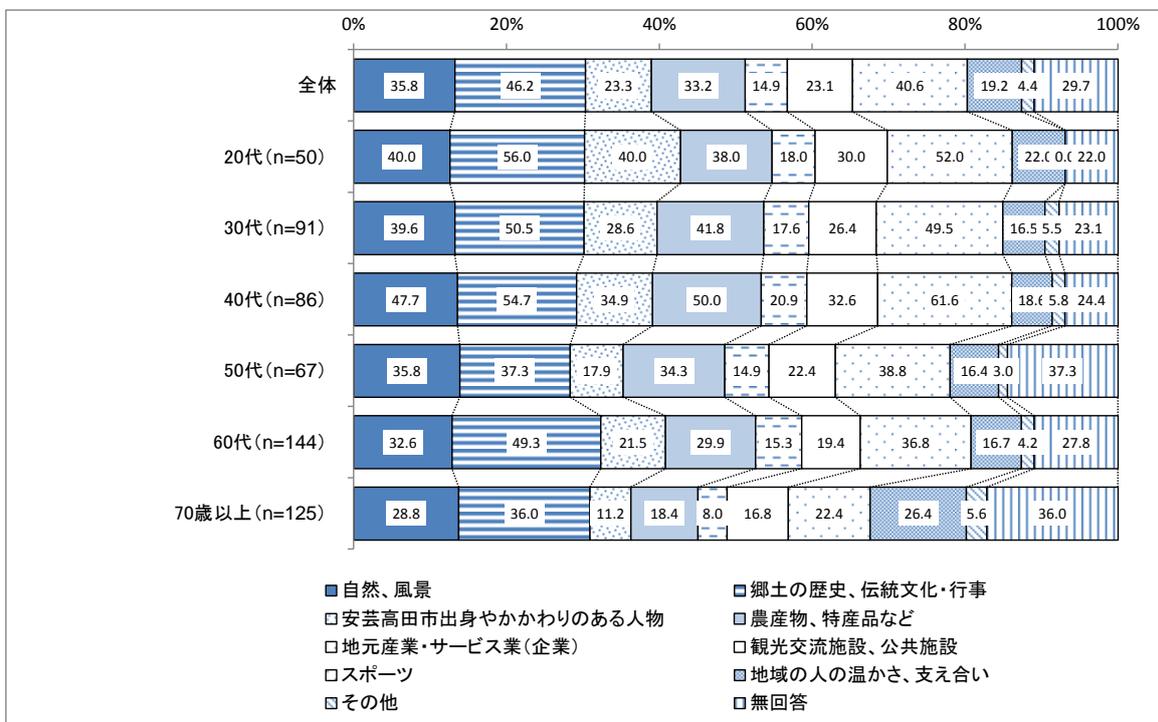
あなたが考える“安芸高田市のお宝”は何かとたずねたところ、「郷土の歴史、伝統文化・行事」と回答した人が46.2%と最も高く、以下「スポーツ」(40.6%)、「自然、風景」(35.8%)、「農産物、特産品など」(33.2%)となっています。

年齢別にみると、「スポーツ」の割合が40代で61.6%と他の年代より高い割合となっています。

あなたが考える“安芸高田市のお宝”
(全体)



あなたが考える“安芸高田市のお宝”
(全体・年齢別)



◆問7 下の安芸高田市の取組について、①頑張っていると感じる分野、②もっと頑張るべきと感じる分野をそれぞれ一つずつ選んでください。

【全体の傾向】

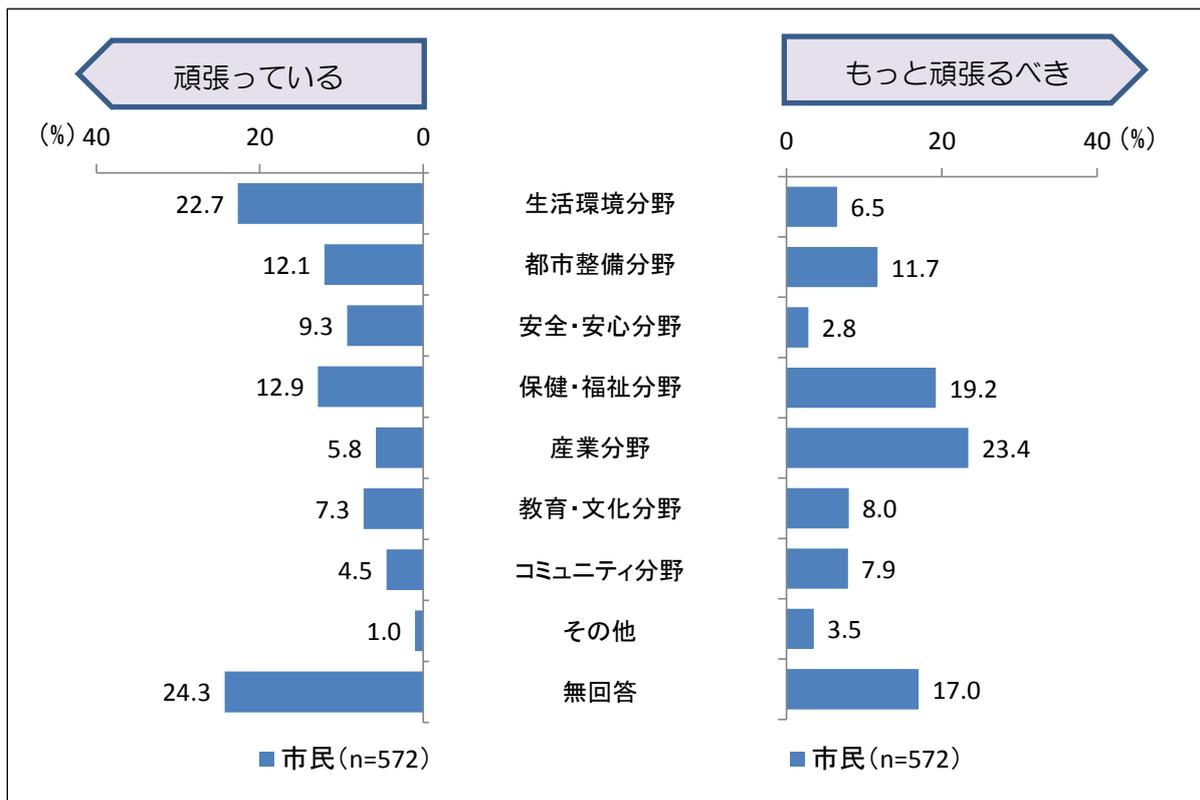
（頑張っている事項）

『頑張っている』と感じる項目で高くなっているのは「生活環境分野」が22.7%と最も高く、以下「保健・福祉分野」(12.9%)、「都市整備分野」(12.1%)となっています。

（もっと頑張るべき事項）

一方、「もっと頑張るべき」と感じる項目で高くなっているのは「産業分野」が23.4%と最も高く、以下「保健・福祉分野」(19.2%)、「都市整備分野」(11.7%)となっています。

安芸高田市の取組について、
①頑張っていると感じる分野、②もっと頑張るべきと感じる分野（全体）



安芸高田市の現状について

- ◆問8～問14 安芸高田市について、各項目の現在の状況に対する「満足度」について、それぞれ5点満点（1～5点）で評価してください。（最も当てはまる評価を1つ選択、該当する数字に○）

加重平均値の算出方法

「分からない」を除いた以下4段階の評価にそれぞれ点数を与え、満足度を算出する。

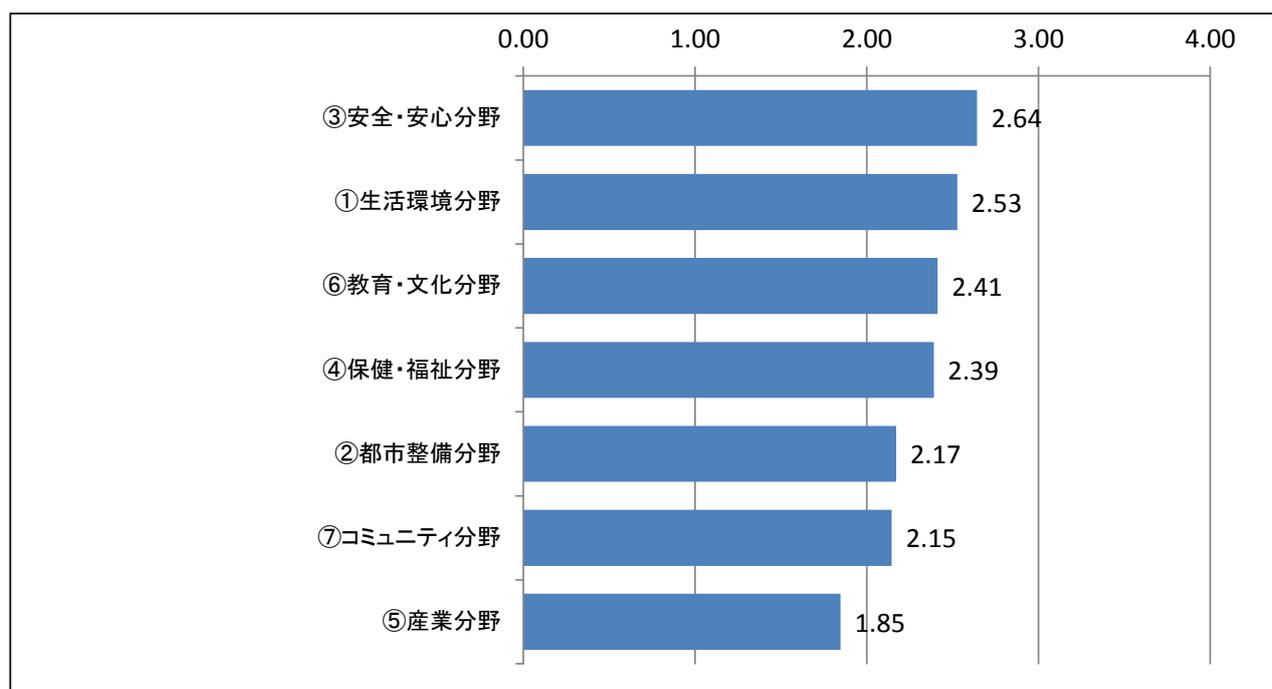
$$\text{満足度} = \frac{\begin{array}{l} \text{満足している} \quad \text{の回答者数} \times 4 \text{点} \\ \text{やや満足している} \quad \text{の回答者数} \times 3 \text{点} \\ \text{あまり満足していない} \quad \text{の回答者数} \times 2 \text{点} \\ \text{満足していない} \quad \text{の回答者数} \times 1 \text{点} \end{array}}{\begin{array}{l} \text{満足している} \\ \text{やや満足している} \\ \text{あまり満足していない} \\ \text{満足していない} \quad \text{の回答数の合計} \end{array}}$$

*この算出方法により、満足度は4点～1点の間に分布し、4点に近くなるほど満足度は高くなり、逆に1点に近くなるほど満足度が低くなる。

【全体の傾向】

現状の満足度を分野ごとの平均値で見ると、「安全・安心分野」(2.64点)の満足度が最も高く、以下「生活環境分野」(2.53点)、「教育・文化分野」(2.41点)となっています。

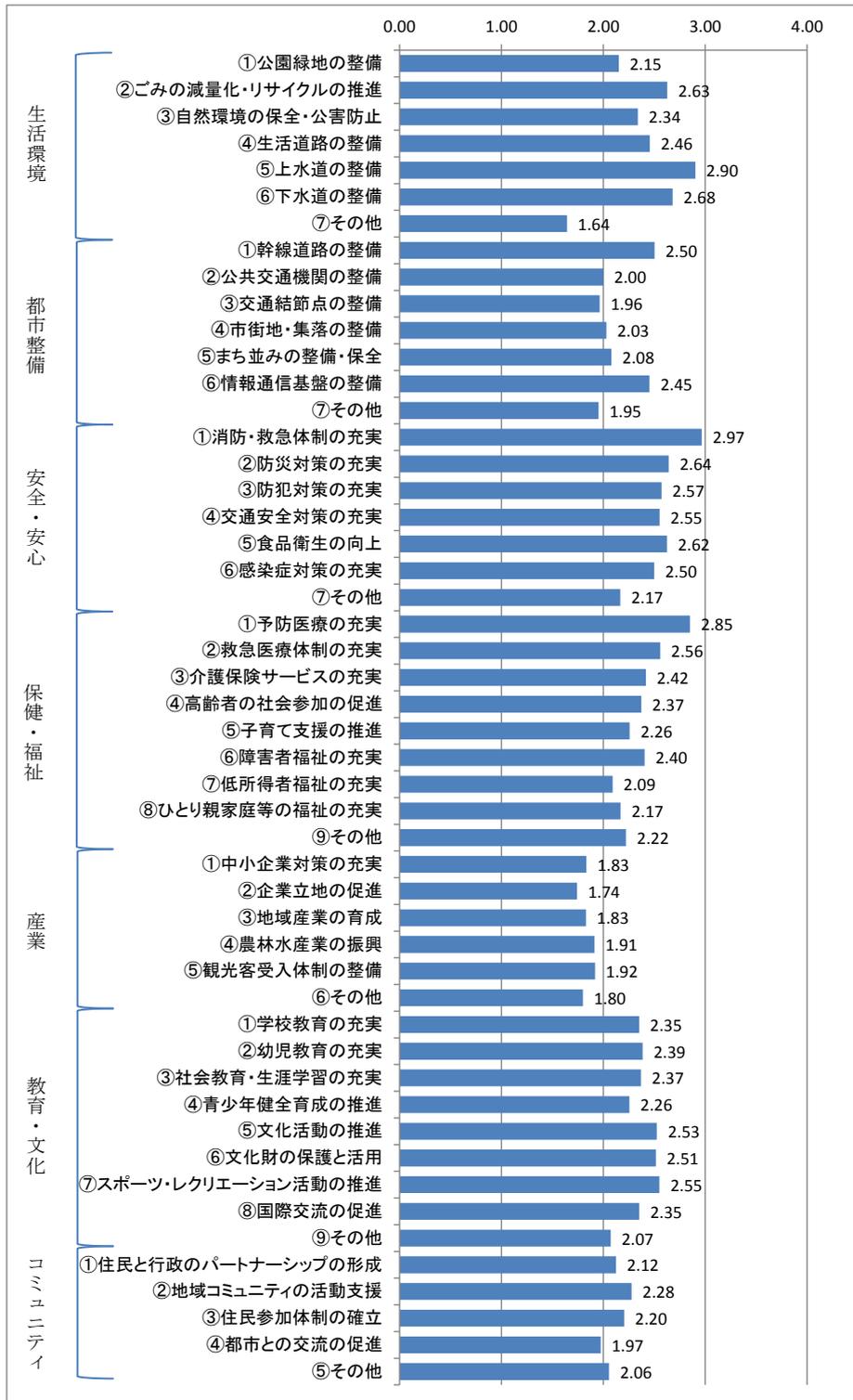
安芸高田市の現状
(分野別 (満足度点数化))



【施策ごとの傾向】

満足度を施策ごとに見ると、「安全・安心分野」の「①消防・救急体制の充実」が2.97点と最も高く、以下「生活環境分野」の「⑤上水道の整備」(2.90点)、「保健・福祉分野」の「①予防医療の充実」(2.85点)となっています。また、「産業分野」の「②企業立地の促進」が1.74点と最も低く、以下「①中小企業対策の充実」「③地域産業の育成」(1.83点)の満足度が低くなっています。

安芸高田市の現状
(全体 (満足度数化))



◆問7「頑張るべきと感じる分野（重要度）」 × 問8「満足度」

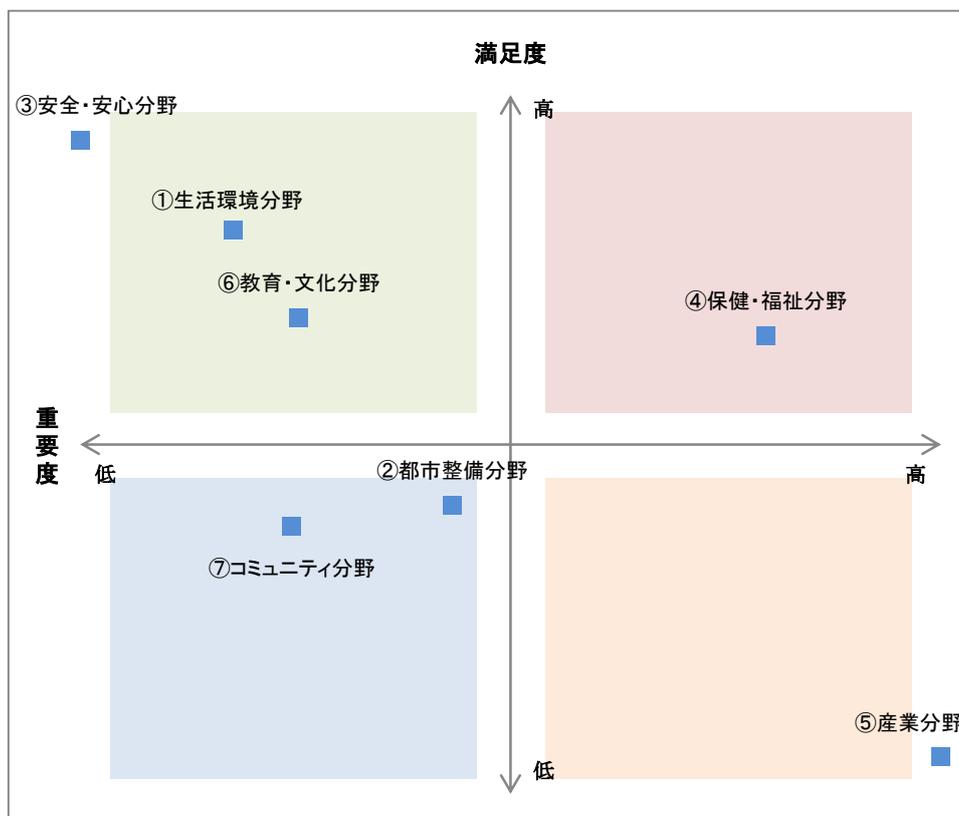
【全体の傾向】

頑張るべきと感じる分野（重要度）と満足度の相関関係を見ると、「④保健・福祉分野」は、重要度、満足度ともに高くなっています。

「③安全・安心分野」「①生活環境分野」「⑥教育・文化分野」は満足度が高いものの、重要度が低い分野であり、一方で「⑤産業分野」は重要度が高いものの、満足度が低くなっています。

「⑦コミュニティ分野」「②都市整備分野」は重要度、満足度ともに低い結果となっています。

「重要度」及び「満足度」について



協働のまちづくり・多文化共生について

- ◆問 15 安芸高田市では、「人 輝く・安芸高田」の将来像実現のため、「自らの地域は自らの手で」といった理由から、合併後、住民と行政の協働のまちづくり（または多文化共生）を推進してきました。このように、行政が協働のまちづくり（または多文化共生）を推進してきたことを知っていますか？（最も当てはまるものを1つ選択、該当番号に○）

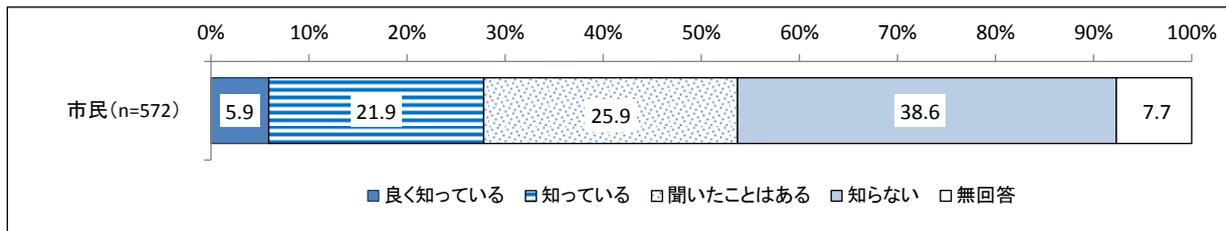
【全体の傾向】

行政が協働のまちづくり（または多文化共生）を推進してきたことを知っているかたずねたところ、「良く知っている」と回答した人が 5.9%、「知っている」の 21.9%とを合わせた『知っている』人は 27.8%と 3 割程度となっています。

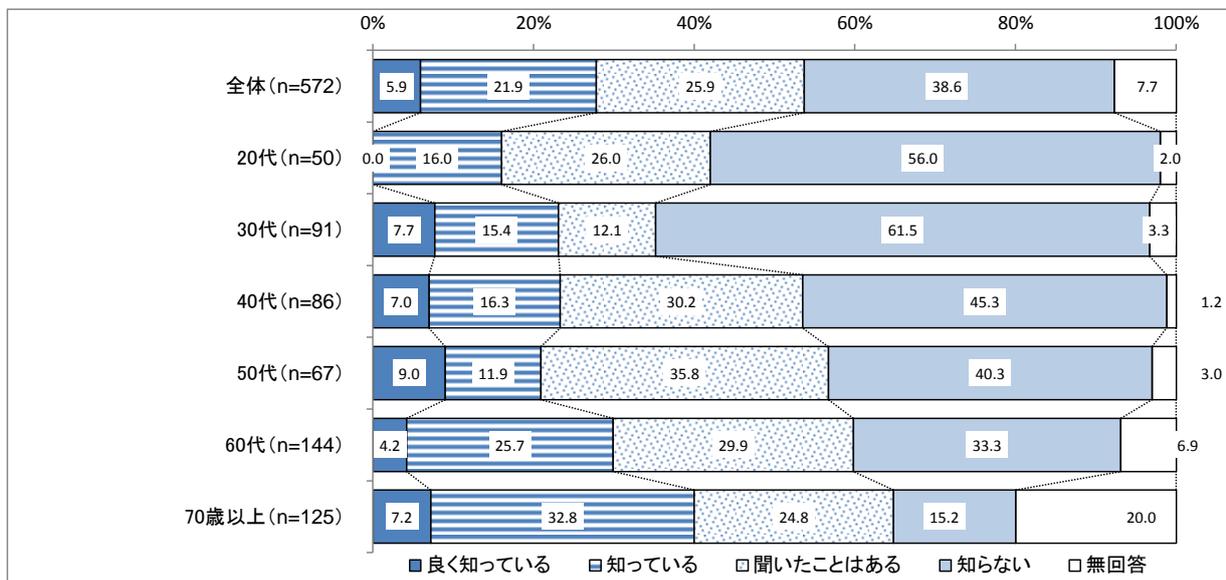
一方、『知らない』（「聞いたことはある」(25.9%)、「知らない」(38.6%) の合計）は 64.5%となっており、『知らない』が 36.7 ポイント高く認知度は低い結果となっています。

年齢別にみると、70 歳以上では『知っている』の割合が 4 割以上と高くなっています。

行政が協働のまちづくりを推進してきたことを知っているか
(全体)



行政が協働のまちづくりを推進してきたことを知っているか
(全体・年齢別)



アンケート結果からみえる地域課題

(1) 産業・福祉分野の安心感を高める

アンケートの結果、「保健・福祉」「産業」は「もっと頑張るべき」と感じる分野の上位にあがっています。これらの分野に関心が集まる背景には、既に迎えた人口減少問題に対する危機感があるものと考えられます。

少子化、高齢化の進む中、保健・福祉分野の需要は高まりますし、人口減少への対策として不可欠な若者世代の定住には「職＝産業」の振興が欠かせません。

これらの分野について「もっと頑張るべき」と市民からの意見が集まったことは、人口減少という大問題を市民と共有できていると評価できます。今後はより一層産業・福祉分野の安心感を高めていく施策を講じる必要があります。

(2) 協働に対する関心を高める

一方、「協働のまちづくり」「コミュニティ」に関する認知度・関心度は低く、特に若い世代のまちづくりに対する意識は決して高くありません。人口減少の進む中で、「協働」の推進は欠かすことのできないテーマですが、自分には関係のない「他人ごと」と感じている人が多いようです。

関心のない若者が興味を持つためには、「協働」を直接的にアピールしても届きません。その人がワクワクする「楽しみ」や、特技を活かせる「喜び」が、活動を通じて実現できるなど、参加の動機づけとなる「入り口」の工夫が必要になります。

(3) 地域資源の魅力高める

安芸高田市民は毛利元就、神楽、サンフレッチェ広島など、世代を超えて共有する地域資源があります。伝統文化や歴史自体はどここの自治体も持つ資源ですが、それを守り伝える人はその場所にしかない独自の資源です。地域資源だけでなく、その裏方を担う「人」、またその人の「想い」に注目することで、地域資源の魅力はオンリーワンのものとなり、「人 輝く・安芸高田市」の実現に近づいていきます。

(4) 効果的に情報を発信する

合併以後、安芸高田市は「協働のまちづくり」を推進してきましたが、今回のアンケート結果では認知度が低い結果となりました。どれだけ良い計画を策定し、効果的な施策を講じても、対象となる市民の理解と協力がなければ「協働」の実現はなり得ません。また、今後さらに推進すべき定住対策においても、地域の魅力を効果的にPRしていく必要があります。

安芸高田市では紙媒体の市報を定期的に刊行する他、市全域にわたる情報通信基盤の整備やFacebookの活用も進んでいます。今後は、これらを活かして、より密な市民とのコミュニケーションに向けた情報発信・PRの方策を検討する必要があります。